

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	品川健康センター									
事業所番号	A	0	9	3	1	-	0	0	7	2
事業所等の所在地	〒140-0001 区市町村名 東京都品川区									
	町名番地下 北品川3-11-22									
事業所等の延床面積	7,729.00		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	4	2	9	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☒ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	①	269	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	521	t
二酸化炭素排出量 水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	7	t
総計(④=②+③)	④	528	t
二酸化炭素排出原単位 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	67.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	109,003.9	45.00	4,905.2	0.0136	244.6
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時) 夜間(22時~翌日8時)	☐ kWh ☐ kWh	9.97 9.28	0.0 0.0	0.4890 0.4890	0.0 0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	567,186.0	9.76	5,535.7	0.4890	277.4
	規則第5条の17第3項の場合のみ ^{※2}	kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計					⑭ 10,440.9		⑮ 522.0
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	11,146.0			0.2660	3.0
	公共下水道	☐ m ³	11,146.0			0.4000	4.5
合 計							⑯ 7.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A216	所内会議・研修会等で報告
エネルギー等の 使用状況の把握		B102	関連他者からの情報を加えて把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯		
		C109	空室・不在時等の空調停止		
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換		
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施		
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策			E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

①外看板照明および外周部の完全消灯②空調機の最小限運用

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	荏原保健センター												
事業所番号	A	0	9	3	1	-	0	0	2	7			
事業所等の所在地	〒	1	4	2	-	0	0	6	3	区市町村名			東京都品川区
	町名番地以下	荏原2-9-6											
事業所等の延床面積	4,312.00			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有												
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)												
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所			☐ 商業施設(物販)			☐ 商業施設(飲食)						
	☐ 工場			☐ 複合施設			☒ その他						
日本標準産業分類における細分類番号	8	4	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店		☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用												
前年度の報告内容からの変更点													

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	①	153	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	297	t
二酸化炭素排出量 水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	3	t
総計(④=②+③)	④	300	t
二酸化炭素排出原単位 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	68.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
								排出 係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	64,062.1	45.00	2,882.8	0.0136	143.8
	その他(ガソリン)		☐	L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0
	その他()		☐		0.0				
	その他()		☐		0.0				
	その他()		☐		0.0				
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	314,305.0	9.76	3,067.6	0.4890	153.7
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2			kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0
合 計						⑬	5,950.4	⑭	297.5
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	4,630.0			0.2660	1.2
	公共下水道		☐	m ³	4,630.0			0.4000	1.9
合 計								⑮	3.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備				A211	所内で温暖化対策情報の提供
				A213	推進担当者の知識向上・内部還元
エネルギー等の 使用状況の把握		B102	関連他者からの情報を加えて把握	B104	設備ごとに詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C123	温湿度の適正管理
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D107	ボイラ等の空気比の調整
		D106	ボイラ等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E109	空調の冷温水配管の保温の実施
				E127	蒸気バルブ等の断熱強化

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無

目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

選択肢超過:E111.E122.E129.E141①施設全体で照明の間引きを実施②パソコンの照度調整を実施③冷房機の適正温度使用

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	品川区清掃事務所品川庁舎									
事業所番号	A	0	9	3	1	-	0	0	3	3
事業所等の所在地	〒	1	4	1	-	0	0	3	2	区市町村名 東京都品川区
事業所等の延床面積	5,372.00		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	8	1	7	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	①	126	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	239	t
二酸化炭素排出量 水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	6	t
総計(④=②+③)	④	245	t
二酸化炭素排出原単位 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	44.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量		
								排出 係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12	
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0	
	その他(灯油)		☐	L	1,000.0	36.70	36.7	0.0185	2.5	
	その他(温水)		☐	MJ	883,557.0	1.36	1,201.6	0.0600	53.0	
	その他()		☐		0.0					
	その他()		☐		0.0					
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0	
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0	
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	375,565.0	9.76	3,665.5	0.4890	183.7	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0	
合 計							⑬	4,903.9	⑭	239.2
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	10,022.0			0.2660	2.7	
	公共下水道		☐	m ³	10,022.0			0.4000	4.0	
合 計									⑮	6.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A203	具体的な取組目標と内容の設定		
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B102	関連他者からの情報を加えて把握	B107	主要設備の使用状況の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

・所内照明の間引き・自動販売機の照明の常時消灯・季節に応じた温度設定の見直し

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	品川区清掃事務所北品川分室									
事業所番号	A	0	9	3	1	-	0	0	5	4
事業所等の所在地	〒	1	4	0	-	0	0	0	1	区市町村名 東京都品川区
事業所等の延床面積	721.00		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	8	1	7	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	①	33	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	65	t
二酸化炭素排出量 水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	3	t
総計(④=②+③)	④	68	t
二酸化炭素排出原単位 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	90.1	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量			
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12		
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	10,582.0	45.00	476.2	0.0136	23.7		
	その他()		☐		0.0						
	その他()		☐		0.0						
	その他()		☐		0.0						
	その他()		☐		0.0						
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0		
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0		
		その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	84,498.0	9.76	824.7	0.4890	41.3		
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0	0.4890	⑬
合 計							⑭	1,300.9		⑮	65.1
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	4,547.0				0.2660	1.2	
	公共下水道		☐	m ³	4,547.0				0.4000	1.8	
合 計										⑯	3.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A203	具体的な取組目標と内容の設定		
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施	D107	ボイラ等の空気比の調整
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無

目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

・所内照明の間引き・自動販売機の照明の常時消灯

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	品川区資源化センター												
事業所番号	A	0	9	3	1	-	0	0	3	6			
事業所等の所在地	〒	1	4	0	-	0	0	0	3	区市町村名			東京都品川区
	町名番地 以下	八潮1-4											
事業所等の延床面積	2,387.00			m ²		事業所等の実績年度の エネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有												
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)												
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所			☐ 商業施設(物販)			☐ 商業施設(飲食)						
	☒ 工場			☐ 複合施設			☐ その他						
日本標準産業分類 における細分類番号	8	8	1	5	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店		☒ 非該当			
再生可能エネルギー の利用状況	☒ 再生可能エネルギー 発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電 気の受入 ☐ 証書による環境価値 の利用												
前年度の報告内容 からの変更点													

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	59	kl
二酸化炭素 排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	115	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	115	t
二酸化炭素 排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当た りの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	48.1	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量				
								排出 係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12			
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0			
	その他()		☐		0.0							
	その他()		☐		0.0							
	その他()		☐		0.0							
	その他()		☐		0.0							
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0			
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0			
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	235,699.0	9.76	2,300.4	0.4890	115.3			
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0	0.4890	⑬	0.0
合 計							⑭	2,300.4		⑮	115.3	
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	1,341.0				0.2660		0.4	
	公共下水道		☐	m ³	1,341.0				0.4000		0.5	
合 計										⑯	0.9	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築		
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策			E109	空調の冷温水配管の保温の実施

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無						
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

・所内照明の間引き・自動販売機の照明常時停止

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	しながわ水族館														
事業所番号	A	0	9	3	1	-	0	0	3	8					
事業所等の所在地	〒	1	4	0	-	0	0	1	2	区市町村名	東京都品川区				
	町名番地以下	勝島3-2													
事業所等の延床面積	4,529.00			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有														
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所					☐ 商業施設(物販)					☐ 商業施設(飲食)				
	☐ 工場					☐ 複合施設					☒ その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	4	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店			☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用														
前年度の報告内容からの変更点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	773	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	1,517	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	14	t
	総計(④=②+③)	④	1,531	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	334.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
								排出 係数 ⑨	排出量※ ¹ (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	43,401.8	45.00	1,953.1	0.0136	97.4
	その他()		☐		0.0				
	その他()		☐		0.0				
	その他()		☐		0.0				
	その他()		☐		0.0				
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	1,539,898.0	9.97	15,352.8	0.4890	753.0
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	1,364,951.0	9.28	12,666.7	0.4890	667.5
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※ ²				kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0
合 計							⑭ 29,972.6		⑮ 1,517.9
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	22,069.0			0.2660	5.9
	公共下水道		☐	m ³	22,069.0			0.4000	8.8
合 計									⑯ 14.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A216	所内会議・研修会等で報告
		A204	取組状況の点検体制の構築		
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C109	空室・不在時等の空調停止	C123	温湿度の適正管理
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C124	冷凍機等の出入口温度把握と調整
				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C118	自動販売機の休日・夜間照明停止
				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E125	高輝度誘導灯の導入
				E105	照明用人体感センサの採用
				E106	高効率照明ランプの採用(屋外)

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無

目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

選択肢超過:C126.C127.C128.E107.E109.E122.E124.E129.E130.E131.E132.E136.E140・節電対策で、夏季期間、館内の空調や照明を調整・生物保存に支障のない範囲で、熱源機器、水処理施設やポンプ等の運転時間を調整・夏期猛暑日の熱源機器への散水による冷却・水処理施設の更新による高効率機器の採用・電気給湯器の停止・外構照明灯の間引き

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	天王洲公園									
事業所番号	A	0	9	3	1	—	0	0	4	0
事業所等の所在地	〒	1	4	0	—	0	0	0	2	区市町村名 東京都品川区
	町名番地 以下	東品川2-5-42								
事業所等の延床面積	403.00		m ²		事業所等の実績年度の エネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類 における細分類番号	8	0	5	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギー の利用状況	☐ 再生可能エネルギー 発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電 気の受入 ☐ 証書による環境価値 の利用									
前年度の報告内容 からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	72	kl
二酸化炭素 排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	140	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	140	t
二酸化炭素 排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当た りの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	347.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量				
								排出 係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12			
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	410.8	45.00	18.5	0.0136	0.9			
	その他()		☐		0.0							
	その他()		☐		0.0							
	その他()		☐		0.0							
	その他()		☐		0.0							
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0			
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0			
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	286,327.0	9.76	2,794.6	0.4890	140.0			
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0	0.4890	⑬	0.0
合 計							⑭	2,813.0		⑮	140.9	
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	1,412.0				0.2660		0.4	
	公共下水道		☐	m ³	1,412.0				0.4000		0.6	
合 計										⑯	0.9	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
				A205	取組内容や点検体制の定期的改善
				A208	組織横断的な推進体制の整備
				A211	所内で温暖化対策情報の提供
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握
		B102	関連他者からの情報を加えて把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C133	可能な限り低い照度設定
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C123	温湿度の適正管理
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E105	照明用人体感センサの採用
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E106	高効率照明ランプの採用(屋外)
				E108	高効率照明器具の採用(屋外)
				E109	空調の冷温水配管の保温の実施

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無

目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

選択肢超過: A216.B108.C120.C126.C129.E120.E121.E122

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	八潮北公園									
事業所番号	A	0	9	3	1	-	0	0	5	9
事業所等の所在地	〒	1	4	0	-	0	0	0	3	区市町村名 東京都品川区
	町名番地 以下	八潮1-3-1								
事業所等の延床面積	232.00		m ²		事業所等の実績年度の エネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類 における細分類番号	8	0	5	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギー の利用状況	☐ 再生可能エネルギー 発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電 気の受入 ☐ 証書による環境価値 の利用									
前年度の報告内容 からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	35	kl
二酸化炭素 排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	69	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	69	t
二酸化炭素 排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当た りの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	297.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量		
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12	
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0	
	その他()		☐		0.0					
	その他()		☐		0.0					
	その他()		☐		0.0					
	その他()		☐		0.0					
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0	
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0	
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	141,690.0	9.76	1,382.9	0.4890	69.3	
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0
合 計							⑭	1,382.9	⑮	69.3
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	296.0			0.2660	0.1	
	公共下水道		☐	m ³	522.0			0.4000	0.2	
合 計									⑯	0.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
				A205	取組内容や点検体制の定期的改善
				A208	組織横断的な推進体制の整備
				A211	所内で温暖化対策情報の提供
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握
		B102	関連他者からの情報を加えて把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C133	可能な限り低い照度設定
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C126	事務用機器の台数見直し・集約化
	設備保守対策			C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策				
				E105	照明用人感センサの採用
				E106	高効率照明ランプの採用(屋外)
				E120	ヒートポンプ式給湯器等の導入
				E121	高効率ボイラの採用(給湯用)

実績年度の目標達成の状況

☐

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無

☐

有

☒

無

目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

選択肢超過:A216.B108.C129.E122

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	立会川浄化施設									
事業所番号	A	0	9	3	1	-	0	0	6	1
事業所等の所在地	〒140-0011 区市町村名 東京都品川区									
町名番地以下	東大井2-23～南大井1-6									
事業所等の延床面積	43.00		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	9	8	2	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	①	53	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	102	t
二酸化炭素排出量 水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	0	t
総計(④=②+③)	④	102	t
二酸化炭素排出原単位 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	2,372.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線を介して供給された電気 昼間(8時～22時)	☐ kWh	180,835.0	9.97	1,802.9	0.4890	88.4
	夜間(22時～翌日8時)	☐ kWh	28,363.0	9.28	263.2	0.4890	13.9
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2		kWh	⑫	9.76	⑪	0.4890	⑬
合 計					⑭ 2,066.1		⑮ 102.3
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	0.0			0.2660	0.0
	公共下水道	☐ m ³	0.0			0.4000	0.0
合 計							⑯ 0.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策				
	設備保守対策			D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無						
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	東五反田地域密着型多機能ホーム										
事業所番号	A	0	9	3	1	-	0	0	8	1	
事業所等の所在地	〒	1	4	1	-	0	0	2	2	区市町村名	東京都品川区
	町名番地以下	東五反田4-11-6									
事業所等の延床面積	800.00		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有										
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他										
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	4	3	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用										
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	①	40	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	77	t
二酸化炭素排出量 水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	1	t
総計(④=②+③)	④	78	t
二酸化炭素排出原単位 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	96.2	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量			
								排出 係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12		
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	2,328.7	45.00	104.8	0.0136	5.2		
	その他()		☐		0.0						
	その他()		☐		0.0						
	その他()		☐		0.0						
	その他()		☐		0.0						
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0		
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0		
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	148,600.0	9.76	1,450.3	0.4890	72.7		
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0	⑬	0.0
合 計							⑭	1,555.1		⑮	77.9
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	2,900.0			0.2660		0.8	
	公共下水道		☐	m ³	2,900.0			0.4000		1.2	
合 計									⑯	1.9	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本産業規格A列4番)

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備				A211	所内で温暖化対策情報の提供
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C133	可能な限り低い照度設定
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C123	温湿度の適正管理
				C132	開け放し開口部面積の縮小
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D106	ボイラ等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E106	高効率照明ランプの採用(屋外)
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E108	高効率照明器具の採用(屋外)

実績年度の目標達成の状況

☐

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

選択肢超過:C120